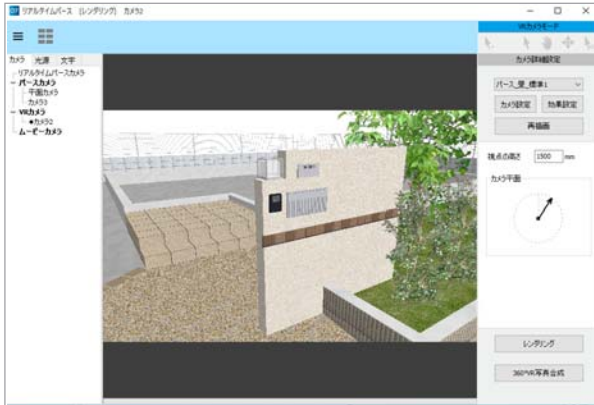


VR作成方法

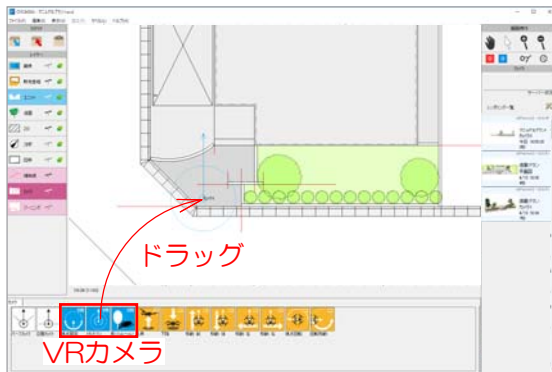
エクステリアVRでは、簡単に視点が動くパースを作成することができます。



マウスドラッグでクルクルと回して見ることができるパースを作成する機能です。

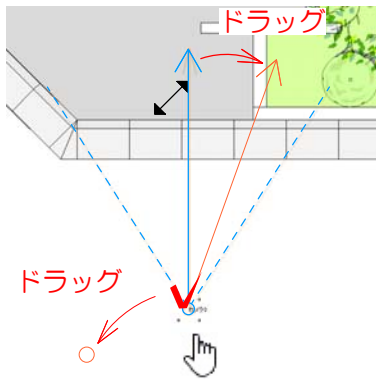
作成したVRはパソコンやタブレットなどのブラウザで見ることができ、特殊なソフトを使用しなくても閲覧することができます。

さらに専用ゴーグルを使用すれば自分がその場にいるかのように臨場感ある映像で体感できます。





1 VRカメラの配置

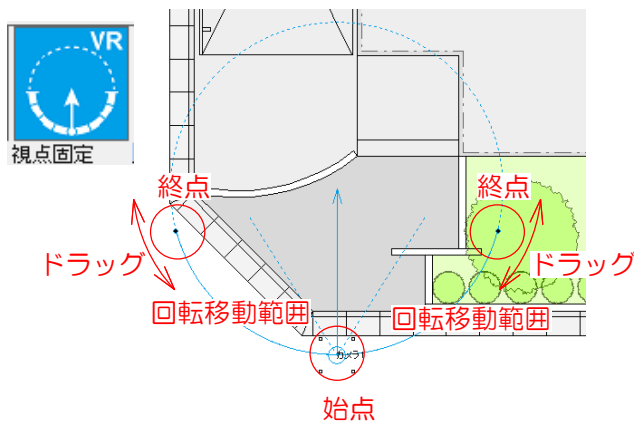
1 カメラレイヤにして、VRカメラを配置します。



カメラの位置と角度を調整します。

2 カメラの○にカーソルを合わせ、になったら、ドラッグでカメラの位置を合わせます。

3 カメラの矢印の先にカーソルを合わせます。になったら、ドラッグして矢印の先を見たい方向へ伸ばします。



【視点固定】

矢印の先を中心に周囲を回ります

○=自分が立つ位置

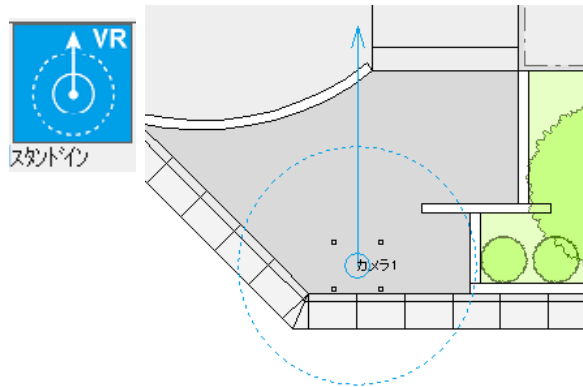
矢印の先=見たいものがある場所

矢印の方向=見る方向

--- → 視野範囲

— → 回転移動範囲

終点をドラッグすると回転の範囲を変更できます。



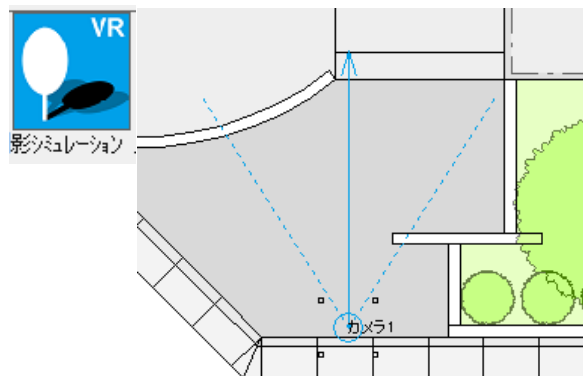
【スタンドイン】

カメラの位置から360°を見回します。VRゴーグルを使用できます。

○＝自分が立つ位置

矢印の先＝スタート時に見たいものがある場所

矢印の方向＝スタート時の方向



【影シミュレーション】

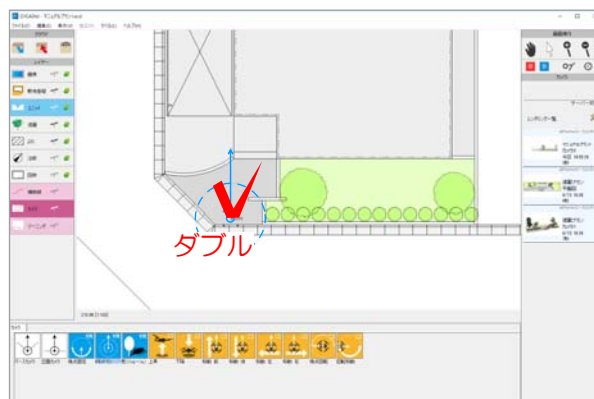
視点は動かず、影が動きます。

○＝自分が立つ位置

矢印の先＝見たいものがある場所

矢印の方向＝見る方向

--- → 視野範囲



2 リアルタイムパースで確認

- 1 配置したカメラをダブルクリックします。

リアルタイムパースに選択したカメラのプレビューが表示されます。

- 2 視点の高さの調整をします。

※視点固定VRの場合は、視点・注視点の高さ、回転範囲が指定できます。

※影シミュレーションVRの場合は、視点・注視点の高さ、所在地、設定日などが指定できます。



- 3 ドラッグで視点を動かして確認しましょう。

3 レンダリング



1 画面右下の「レンダリング」をクリックします。

レンダリング出力設定の画面が表示されます。




2 「eE-Painter」にチェック、「e-Boardへ保存」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

※橋(オプションソフト)をご導入頂いてる方は、橋サーバーor橋ローカルも選択できます。

e-Boardの物件箱の一覧画面が表示されます。



3 新しく物件箱を作る場合は **物件箱**  をクリックします。

※保存する物件箱が既にある場合は「この箱に保存する」を選択します

物件箱を新しく作る場合は入力画面が表示されます。

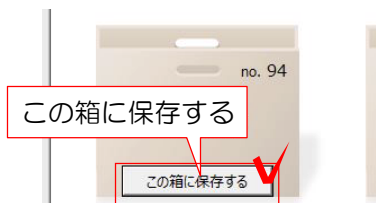


4 ふりがなと物件名を入力し新規登録を選択します。

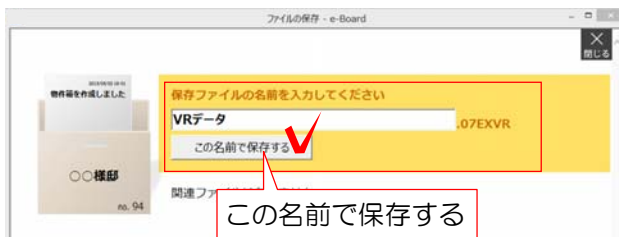


5 「入力フォームを非表示にする」をクリックします。

作成した物件箱が表示されます。

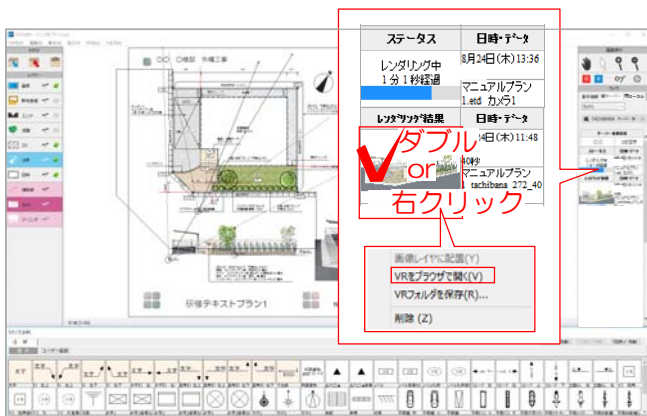


6 「この箱に保存する」を選択します。



7 保存するデータ名を入力して、「この名前で作成する」を選択します。

レンダリング中は、画面右側の一覧で「レンダリング中」と表示されます。レンダリングが完了すると、レンダリング結果にパース画像が表示されます。



8 パース画像をダブルクリック

or

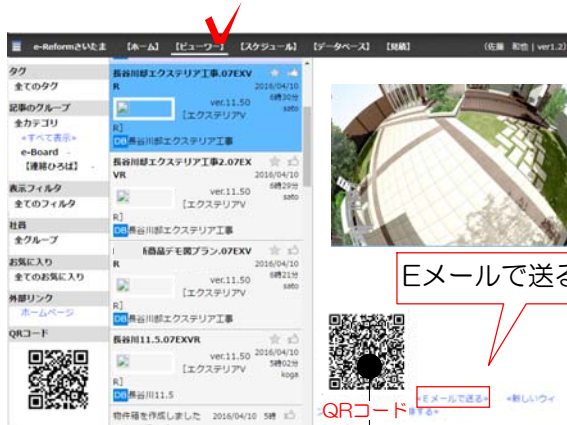
右クリックし「VRをブラウザで開く」からVRを確認できます。

9 ドラッグ or 右クリック「VRのQRコードを注釈レイヤに配置」でQRコードを配置します。



QRコードが図面上(画像レイヤ)に配置されます。

これらのQRコードをスマートフォンなどで読み取るとスタンドインVRが閲覧できます。



※e-Boardでも閲覧でき、そこからQRコードを読み取る、メールで送ることも可能です。

Eメールで送る



QRコードとは？

読み取りカメラや専用アプリで読み取るとアドレスが表示され、簡単にサイトにアクセスすることができます。

e-BoardにUPした画像やVRなども簡単に見ることができます。



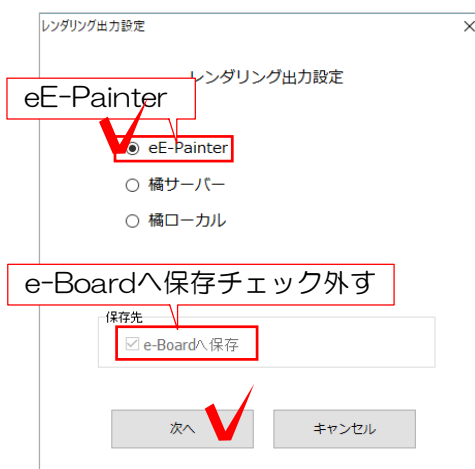
QRコードをスマートフォンの読み取りカメラや専用アプリで読み取った場合は表示方法の選択画面が表示されます。



【e-Boardに保存せずに、デスクトップに保存する場合は…】



1 画面右下の「レンダリング」をクリックします。



レンダリング出力設定の画面が表示されます。

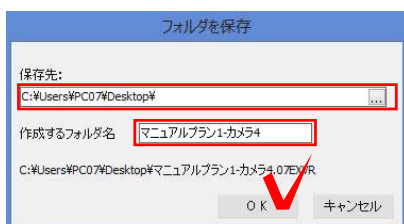
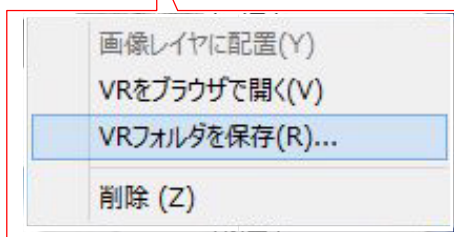
2 「eE-Painter」にチェック、「e-Boardへ保存」のチェックを外し「次へ」をクリックします。

※橋(オプションソフト)をご導入頂いてる方は、橋サーバーor橋ローカルも選択できます。



CAD操作画面右側「レンダリング一覧」でレンダリングが開始されます。

3 レンダリングデータの上で右クリックし「VRフォルダを保存」を選択します。

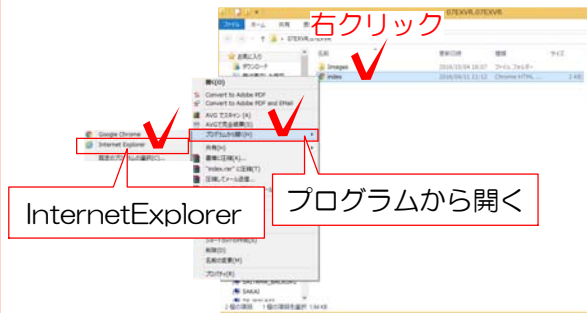


4 保存先、作成するフォルダ名を設定し「OK」をクリックします。

VRデータが保存されました。



5 デスクトップにできたフォルダをWクリックで開きます。

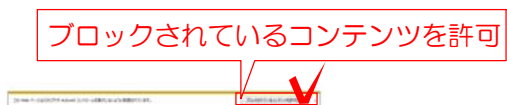


6 indexのデータの上で右クリック→プログラムから開く→Internet Explorerを選択します。

※デスクトップにVRを保存する場合は、Internet Explorerで開かないと閲覧できない場合がございます。



7 画面下側にブロックされているコンテンツを許可するかメッセージが表示された場合はクリックで許可をお願いします。



8 指で画像を動かすを選択し、表示されたパース図をドラッグで回転して閲覧できます。